

2022（令和4）年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	14950300103	事業の開始年月日	平成22年4月1日
		指定年月日	平成22年7月1日
法人名	ヒューマンライフケア株式会社		
事業所名	グループホーム高津		
所在地	( 213-0034 ) 川崎市高津区 上作延 3-10-10		
サービス種別 定員等	■ 認知症対応型共同生活介護	定員計	18名
		ユニット数	2 ユニット
自己評価作成日	令和4年10月12日	評価結果 市町村受理日	令和5年2月7日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先 <http://www.rakuraku.or.jp/kaigonavi/>

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

閑静な住宅街の中で、大きな一軒家としてまわりに溶け込んでいます。まわりに、畑が広がり梅林が目の前に広がります。10年以上の運営で開設から勤務されている職員さんもおり、地域の方 ご家族様 ご利用者様との連携を深く築いた運営をしております。職員とボランティアさんがお手入れしている花壇は訪れる方々にお褒めのお言葉をいただいております。お散歩に行かれるご利用者様も「いつもきれいだね」とお話しして下さいます。食事は職員が材料から調理をする手料理を提供してご利用者様からご好評をいただいております。ホットプレートを出してお好み焼きやホットケーキを焼く食べ物のイベントにも力を入れています。ホームの中は職員が準備をし、ご利用者様と一緒に制作した月毎の貼り絵のカレンダーや折り紙、お花の飾りつけなど季節ごとにホーム全体で作成しております。

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	株式会社フィールズ		
所在地	251-0024 神奈川県藤沢市鵜沼橋1-2-7 藤沢トーセイビル3階		
訪問調査日	令和4年11月11日	評価機関 評価決定日	令和5年1月27日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

事業所は、田園都市線「梶ヶ谷」駅或いは「溝の口」駅より市バスで「しばられ松」「上作団地前」下車、徒歩5分の閑静な住宅街の高台にあります。近隣には小学校、敷地の前には畑があり野菜の成長を楽しめる環境です。木造（耐火構造）2階建て、広いウッドデッキ付き、庭や畑のある2ユニットのグループホームです。  
<優れている点>

6月に新管理者が着任しています。事業所開設から12年間管理者をしていた職員は苦情受付の窓口業務・渉外担当として活躍しています。建物オーナー、町内会、近隣住民、ボランティアとの関係構築が実を結び、利用者との温かい交流の場が築かれています。10年以上勤務の職員が多く、利用者の生活歴や好みを熟知し家庭的な雰囲気です。ゆったりと過ごせる明るい環境となっています。利用者は、バザー、クリスマス会と食事会、さつまいも掘り会など様々な行事へのボランティア参加を得て笑顔で活気のある暮らしをしています。仲の良い人が4人掛けテーブルを囲み一緒にパズルをしながら会話を楽しんだり、居間で好きなことができるように支援しています。家族の訪問時は笑顔で迎え、心配ごとや要望にも丁寧に対応する職員の姿勢に「安心して、感謝している」という声が届いています。

<工夫点>

コロナ禍でも面会ができるように消毒の徹底をし、利用者の健康管理に努めています。法人の許可を得てベンチでマスク着用での家族面会を実現しています。

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1～14	1～10
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15～22	11
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23～35	12～16
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36～55	17～23
V アウトカム項目	56～68	

事業所名	グループホーム高津
ユニット名	1F

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/> 1, 毎日ある <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまにある <input type="radio"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="radio"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="radio"/> 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="radio"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="radio"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="radio"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="radio"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="radio"/> 3, あまり増えていない <input type="radio"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の目の届く玄関口に掲示され、つなげている</li> <li>・わからない</li> </ul>	法人理念は「笑顔」と「こころ」です。事業所理念は3つです。利用者の「困難をうけとめ理解する努力、可能性を見出し導く努力、一人では創れないより良い暮らしを支援」を謳い、玄関に掲示しています。職員は出勤時に確認し、業務への「心の拠り所」としています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今はコロナのため中止しているが以前は敬老会などに参加し交流していた。</li> </ul>	町内会に加入し役員や農協女性部会員、近隣住民との交流がありました。コロナ禍のため現在中断しています。新管理者の着任挨拶を兼ねた、ホームの現状についての報告や、段階的に交流を再開する計画を立てています。	新管理者着任の機会を利用し、運営推進会議のメンバーに議事録を配布や、近隣住民やボランティアなどの声かけをし、関係が途切れないように、日頃からの地道な働きかけも期待されます。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・理解、支援をしており外で危険な人を見かけた際は進んで声をかけている。</li> <li>・わからない</li> <li>・できていない</li> </ul>		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染でできていないが、書面にてご家族様 包括支援センターに送付している</li> </ul>	メンバーは本人、家族、町内会役員、民生委員、地域包括支援センター職員、知見のある住民などです。コロナ禍対策を徹底した対面会議の開催や、会議参加者には議事録を配布して現況の報告と意見を貰う予定です。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者支援課との関りはある。</li> <li>・わからない</li> </ul>	介護認定申請代行及び空室問い合わせなどで高齢者支援課や福祉事務所の担当者との連絡を行っています。地域包括支援センターの地域ケア会議は中止となっていますが、アンケートで回答しています。運営推進会議議事録も送付し現況の報告を行っています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業員への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ご利用者様のご家族様と話し合いケアに取り組んでいる</li> <li>・ご利用者様の命を守るために拘束を行っている</li> </ul>	3ヶ月ごとに身体拘束廃止委員会を実施し、事例検討、対応策を職員に周知しています。虐待につながる身体的拘束やスピーチロックについて研修を行い、ケアに活かしています。玄関は安全のため施錠していますが、2ユニット間は施錠していません。家族の同意を得て、落下防止柵と感知センサーを設置しています。	
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虐待防止委員会にて話し合いを実施している</li> <li>・職員で目配り気配りをして努めている</li> </ul>	3ヶ月ごとに虐待防止委員会を開催し、内容を職員に周知し、対策方法を実践に活かしています。虐待チェックシートを年2回配布し職員の振り返りや、自己点検を促しています。虐待に繋がるケースの場合は法人に連絡し、どのように防止するか検討、ケア方法の改善をしています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わからない</li> </ul>		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点長、ケアマネを中心に施設見学の時から説明をし、ご家族様との理解のズレを防いでいます</li> </ul>		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナのため直接ご意見をうかがうことができていない</li> <li>・電話や手紙を使ってお互いの思いを理解できるよう努めております</li> </ul>	利用料請求時に利用者の様子、家族へのたよりを同封しています。要望は電話で受け、運営に活かしています。面会希望を受け、9月からテラスデッキのベンチで短時間面会をしています。靴が合わない相談は、整形外科医と協力し、調整できる会社から購入するなどの支援もしています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	・させている。月に一回以上ミーティングを行い、職員の意見交換の場を設けている。	ユニット会議で職員の意見・要望・提案を聞いて運営に活かしています。法人は8月からタブレットを導入し記録作業の効率化を図っています。タブレットの使い方が解らないという職員に対しては、研修及び個別指導を行い、記録と情報共有の徹底に努めています。	
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	・努めていると思う ・わからない	個人面談を年2回実施しています。職員からの、「2階の休憩室は時間が重なって入れない」という意見に対して、1階事務室奥にキャビネットを設置し改善するなど、勤務環境を整えています。実績や努力を評価し、パートから契約社員になった職員もいます。人事考課や昇給制度があり適切に運用しています。	
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	・会社独自のマイスター制度を導入しており、座学 実技の試験を行っている。 ・していない	専門資格取得支援制度、2つの社内資格認定制度（テクニカルマイスター及び認知症介護マイスター）を設け、職員の技術の向上と昇給のモチベーションの向上を図っています。研修は、eラーニングを通して行い、知識とサービスの質の向上、人材育成に取り組んでいます。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	・わからない ・していない  ・会社内のオンラインのミーティング、地域の事業所が集まるブロック会議を経て意見交換を行っている。		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	・努めている  ・ご利用者様と職員が積極的に対話をする時間があり、ご要望や困っていることをヒアリングしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お会いするときは努めている</li> <li>・電話での様子をお伝えするときに努めている</li> <li>・ご家族様が来られた際は明るく会話し、ご利用者様の出来事などに不安にならないように努めている</li> </ul>		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・努めている</li> </ul>		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の一員とした関係で楽しく築いている</li> </ul>		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・築いている</li> <li>・わからない</li> <li>・不安なことや相談したいことはご家族様にご意見を伺って対応をしている。</li> </ul>		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わからない</li> <li>・ご利用者様のご友人やご家族様からお電話が来ることも多く、支援継続に努めている。</li> </ul>	家族の協力を得て行っていた墓参りや外泊旅行、馴染みの店での買い物はコロナ禍のため現在は自粛しています。法人の許可を得て、希望者には外ベンチでの面会ができるように努めています。行事計画を見直し、ホーム向いの畑での「さつま芋ほり」を企画し、利用者と家族・近隣住民との交流に繋がっています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	・孤立しないように常に声掛け、笑顔で会話に努めている		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	・ホーム以外で家族に会った時も笑顔で会話し、ご相談があった場合はホームに持ち帰りスタッフで話し合い、安心した支援を心掛けている ・色々手続き、郵便物などのやり取りは支援している。半年過ぎるとほぼ終了する		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	・スタッフ全員で話し合いの場を設け、対応している	日常のケアや入浴時など、職員と1対1となる場面での会話や、思い出話しの傾聴を通してやりたいことや希望を把握しています。意思表示の困難な利用者は、表情や態度の観察、笑顔から汲み取るようにしています。家族に生活歴を聞き把握することもあります。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	・できる限り努めている ・編み物、貼り絵、塗り絵などご利用者様の得意なことを積極的に提供しています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	・努めている ・感情失禁された方には別スタッフが対応したり、居室でお話を傾聴したりと努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一か月に一回 介護計画を作成するためにミーティングを行う</li> <li>・業務多忙でできていない</li> </ul>	介護計画作成のためのケア会議は、利用者に特に変化が見られない場合には年1回行い、変化が見られる場合には半年あるいは随時に開催して見直しを行っています。ケア会議前にはモニタリングの実施、家族の意向を聞き取り、医療面では事業所の看護師が参加して作成しています。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・している</li> <li>・カンファレンスシートを使用して職員同士で意見交換をしやすい場を作っています。</li> </ul>		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・している</li> <li>・職員同士で声を掛け合ってその場に合わせた臨機応変にお散歩の対応をしたり、入浴予定を変更したりしています。</li> </ul>		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わからない</li> <li>・コロナで難しい</li> </ul>		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わからない</li> <li>・看護師がつきそいのもと、ご利用者の言葉にできない思いや希望をお伝えしている。</li> </ul>	提携内科医は本人や家族の希望で2ヶ所のクリニックがそれぞれ月2回訪問しています。受診時は事業所の看護師と薬剤師が立ち会います。急変時は24時間オンコール体制です。歯科医は2週間毎の訪問です。専門医への通院は原則家族対応ですが、緊急時は職員が付き添います。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談している</li> <li>・わからない</li> <li>・日々の業務を直雇用の看護師も携わっており、連携をとっている。</li> </ul>		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・している</li> <li>・ご家族様、病院、施設と連携を取り合いご利用者様の健康に合わせた対応をとっています。</li> </ul>		
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わからない</li> <li>・ご家族様 医療機関と連携を取り合い、終末期のご利用者様にとっての最善の対応をとるよう努めております。</li> </ul>	契約時に「重度化した場合の対応及び看取りに関する指針」を説明し「意思確認書」を得ています。終末期には再度家族の意思を確認し、主治医、看護師との連携のもと看取り介護計画書を作成し、家族が納得できる支援に努めています。看取り経験があり研修を行っています。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わからない</li> <li>・一応実践している</li> </ul>		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・している</li> </ul>	防災訓練は地震・火災を想定して年2回実施しています。災害時の職員への緊急連絡にはLINE（SNSアプリ）を使用し、家族には主に電話で対応しています。災害時用備蓄品は屋外倉庫に3日分の食料品と飲料水、コンロ・携帯ガスボンベなどを保管し、台帳で消費期限の管理を行っています。	防災訓練、火災避難訓練の対応はホーム内の職員だけで実施しています。日頃から地域住民との関係を密にして、いざという時に駆けつけ支援をしてもらえる関係を築かれることも期待されます。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・なるべくしている</li> <li>・人格の尊重はしている。声が大きい ため、プライバシーには少し欠けている かも</li> </ul>	<p>年長者として敬う言葉かけの仕方などは研修で学び、不適切な介護に当たるスピーチロックを減らすように努めています。金銭や家族に関する話など、個人的な内容の場合には居室で話すようにしています。トイレ誘導の際には小声でさりげなく声をかけるように配慮しています。</p>	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・声に出して表すように働きかけている</li> </ul>		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わからない</li> <li>・ご利用者様とコミュニケーションをとりながら可能な限り支援できるように努めている。</li> </ul>		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身だしなみは気にかけて支援している</li> </ul>		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の内容によってはいつもより気にかけて良く噛むように声掛けする。片付けも楽しく会話をしながら行っている</li> </ul>	<p>週6日分の献立と食材は業者に委託し、調理は職員が行っています。毎週火曜日は利用者のリクエストに応じて職員が献立から作る日となっています。敬老の日にはちらし寿司を作り、誕生日会にはホールケーキを購入し、みんなで楽しめるように工夫しています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・している</li> <li>・医療機関と相談をし、その人の食形態、みそ汁の有無、トロミの必要性などを話し合い提供している。</li> </ul>		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・している</li> <li>・義歯の回収、歯ブラシ 口腔スポンジの使用などその人に応じた対応をしている。</li> </ul>		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・している</li> <li>・排泄パターンを職員が共有しており、ご利用者様の状態に合わせて誘導をしています。</li> </ul>	排泄が困難な利用者にも、できるだけトイレで排泄できるように支援しています。毎日の排便を促すために、食事内容や適切な水分量の摂取、体を動かす運動など基本的な支援を行うように努めています。排便を促す乳酸菌飲料なども適宜取り入れています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水分摂取が少ない人への対応を考えたい</li> </ul>		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・していない</li> <li>・している</li> <li>・ご利用者様のご要望にできるだけ沿って、安全安心な入浴の場を提供しています。</li> </ul>	入浴は週に2回です。同性介助や入浴に関するこだわりなどがある人にはできるだけ利用者の希望に応じるように努めています。入浴時の1対1の介助の中で、気分が良くなりながら会話が弾むように心がけています。職員が利用者の思いを聞く良い機会となっています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援している</li> <li>・身体状況に合わせて午睡の時間や、室温 掛布団の有無など対応を変えています。</li> </ul>		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・努めている</li> <li>・医療機関と連携し。薬情の確認を継続しております。</li> </ul>		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・している</li> <li>・ご利用者様一人一人の得意なこと好きなこと嫌いなことを職員が理解し、その人に沿ったものを提供しております</li> </ul>		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナでできていない</li> <li>・人通りの少ない近所の散歩でいどにとどまっている。</li> </ul>	天気の良い日はできるだけ散歩に行くようにしています。職員は利用者数名と一緒に、ホーム前の畑や住宅に面した道を15分程度散歩しています。散歩に行かれない利用者は駐車場に面した花壇で外気浴を楽しんでいます。コロナ対応でドライブなどは自粛しています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わからない</li> <li>・ご本人様の経済状況に沿って対応しています。</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在はいませんができるようになら手紙のやり取りなどいいですよ</li> <li>・ご家族様にお電話をされたいときには職員が間に入って通話の時間を設けております。</li> </ul>		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・居心地いいのは一番だと思うので色々と工夫をしていきたいです</li> </ul>	明るく清潔感のあるリビングでは好みの音楽を流したり、ソファに座ってテレビを見るなど、心地よく過ごせるよう工夫しています。壁面には塗り絵や貼り絵で飾ったカレンダーや、折り紙で作った季節の花を飾って明るい雰囲気づくりに努めています。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工夫していきたい</li> <li>・席順やテレビ、窓の配置などご利用者様の意思に沿って安全な場を提供しております。</li> </ul>		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・している</li> </ul>	備品はベッド、エアコン、クローゼットです。写真、テレビ、馴染みの物や、小物を入れる整理ダンスを持ち込み、居心地よく過ごせるように工夫してしています。家族の了解を得て転倒防止感知センサーを設置しています。清掃、整理・整頓で清潔な居室になるように支援しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・している</li> </ul>		

事業所名	グループホーム高津
ユニット名	2F

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>共有して実践につなげている</li> <li>わからない</li> <li>散歩に出かけた際には道に出会った方とあいさつをしている</li> </ul>		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナがあり以前より交流ができていない</li> <li>交流している</li> <li>していない</li> </ul>		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>わからない</li> <li>活かしていると思う</li> <li>していない</li> <li>散歩に出かけた際には道で出会った方とあいさつをする</li> </ul>		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>わからない</li> <li>多分生かしていると思う</li> <li>コロナ禍のためできていない</li> </ul>		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホーム長が担当者と連絡を取っているようです</li> <li>わからない</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が、身体的拘束等の対象となる具体的な行為を正しく理解するとともに、身体的拘束等の適正化のための指針の整備、定期的な委員会の開催及び従業者への研修を実施し、緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束等をしないケアに取り組んでいる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取り組んでいる</li> <li>・事故防止でやむを得ないときは相談するし拘束しない</li> <li>・身体拘束などを理解ししないように取り組んでいる</li> </ul>		
7	6	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できている</li> <li>・虐待防止に努めている</li> </ul>		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記について学ぶ機会がないため分からない</li> <li>・していると思う</li> <li>・していない</li> </ul>		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者の仕事のため分からない</li> </ul>		
10	7	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・されている</li> </ul>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	8	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	・ミーティングで話し合いができていないことがある		
12	9	○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	・していない ・努めている		
13	10	○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	・していない ・できていない		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	・コロナ禍のためしていないと思う ・できていない		
<b>II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	・できている ・わからない		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	・取り組んでいる		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	・努めている		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	・コミュニケーションをとって信頼関係を築いている ・できることは手伝ってもらっている		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	・わからない ・そう思う		
20	11	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	・ご利用者様の思い出を大事に傾聴している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・席替え時は仲が良いご利用者様同士で座るようにしている</li> <li>・孤立しないように気を付けている</li> </ul>		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理者の仕事なので分からない</li> </ul>		
<b>Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	12	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・努力している</li> <li>・できている</li> </ul>		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・努めている</li> </ul>		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できている</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	13	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	・ 思う		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	・ 情報共有している		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	・ 取り組んでいる		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	・ 思う		
30	14	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	・ できている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。			
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。			
33	15	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。			
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	・事故報告書、検討会の実施をしている		
35	16	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	17	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉かけに注意しているが聞こえない際に大きな声で言う</li> <li>・言葉かけや対応に気を付けている</li> </ul>		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できている</li> </ul>		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援している</li> <li>・焦らずゆっくり対応するように心がけている</li> </ul>		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・している</li> </ul>		
40	18	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・している</li> </ul>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	・食事水分量を確認して提供しているがスタッフによって量が違う場面がある		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	・できるように気を付けているが自分がどのくらいできているかわからない ・行っているが口が開かないときあり		
43	19	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	・声掛け誘導している		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	・取り組んでいる		
45	20	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。	・曜日を決めて実施している ・曜日は決めていないが無理せず、時間や曜日の時間変更をしている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>いつでも休めるようにしている</li> <li>室温にも気を付けている</li> </ul>		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>症状の変化に気を付けているが、薬についての知識不足。</li> </ul>		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援しているが全員ではない</li> <li>同じことの繰り返しになっている方もいる</li> </ul>		
49	21	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>近くの散歩のみ</li> <li>天気の良い日には散歩に出るようにしている</li> </ul>		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ご家族様の了解でホーム長が管理している</li> </ul>		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	・本人希望の時はできるようにしている。		
52	22	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	・季節感のある作品を季節感のある作品をご利用者様と作り壁に飾っている		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	・リビングや居室を自由に過ごして頂いている		
54	23	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	・ご家族様との写真や手紙などを飾っている		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	・障害物になるようなものは置かないように気を付けている		

2022年度

事業所名

作成日： 2023年 2月 3日

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2	前管理者が築いた近隣住民、ボランティアの方などへの関係が維持できていない。	近所に住んでいるオーナーさんをはじめ新管理者から積極的に連絡を取り、地域の方との連携を維持していく。	2月の運営推進会議でのオーナーさんへの事前連絡での書面の報告、ボランティアさんへの挨拶をする。	1ヶ月
2	16	地域住民の方を交えた防災訓練の実施ができていない。	オーナーさん、ボランティアさん、地域住民の方にグループホーム開催の防災訓練に参加の連絡をし認知して頂く。	地域住民の方との関係が維持できていないため、2月開催の防災訓練にオーナーさんが参加可能なのかお伺いする。	1ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月